

● 総 説 ●

[シリーズ: 移植医療と組織適合性]
第2回
同種造血幹細胞移植における
マイナー組織適合性抗原の臨床的意義

村田 誠

名古屋大学医学部附属病院 血液内科

要約: マイナー組織適合性抗原とは、患者細胞表面の HLA 上に提示される細胞内タンパク由来のペプチドのうち、遺伝子多型により患者とドナー間で異なるアミノ酸配列をもち、非自己の T リンパ球に認識されるものをいう。ヒトでは 20 数個のマイナー組織適合性抗原が分子レベルで同定されている。マイナー組織適合性抗原に対する T リンパ球応答は、HLA 一致ドナー同種造血幹細胞移植後の移植片対宿主病の発症や移植片対腫瘍効果の発現に関与している。

キーワード: T リンパ球, HLA, 移植片対宿主病, 移植片対白血病効果, 移植片対腫瘍効果